6. 第３次国家５か年計画（抜粋）

第3次国家5か年計画（抜粋）

第25章　情報，新聞およびマスコミ

I 概　　説

国家開発を成功させるには，情報およびマスコミの役割を高めなければならない。これらの役割は，民族闘争への忠誠心を高め，国家の統一と団結を固め，かつ開発に対して国民の参加を呼びかけることにある。

開発に当たり新聞の役割を高めるためには，健全な新聞，自由かつ責任をもつ新聞，すなわち客観的情報提供者としての機能を果たすことのできる新聞，建設的社会統制をなし得る新聞，国民の願望を伝え，国民の参加を呼びかけ得る新聞でなければならない。

健全で，自由かつ責任をもつ新聞を発展させるためには，新聞に関する基本的法律を再検討しなければならない。これに平行して，パンチャシラ民主主義の実行に当たり，健全な新聞の発展を保証する諸法令を準備する必要がある。

情報通信を国の隅々まで流すためには，ラジオ，テレビ，映画，通信社などの情報活動を振興しなければならない。そのような活動を活発化するには，民間に健全な発意が生ずるような空気を醸成しなければならない。これに関連して，広く，自由に，そして責任ある対話が民間と政府との間に存在する必要がある。そのような対話は新鮮な構想を生み，前進し，発展する力を産むのである。

これがマスコミ発展の土台であり，かつ開発に国民を参加させる土台となるのである。マスコミの発展は日常活動によってなされるもので，言論，行為によって実現される。かくて国家目標を達成するために不可欠な国家の統御力を強めることができるのである。この場合，マスコミのみならず，社会的指導者，大学，専門的諸機関の役割もまた重要である。

以上の目的を最大限度に結集させるためには，村落対話機関，村落社会機関なども動員して，健全な社会統制の役割を果たさせなければならない。マスコミの目的は次の通りである。

A. 民族の団結と統一を達成する。

B. パンチャシラ民主主義生活において国民の政治的覚醒を高める。

C. 国民の責任の自覚による開発への参加

D. 国家開発の進行を支持するよう社会的空気を醸成する。

E. 国家安定の維持

II 現状と問題点

A. 第IIレプリタ中88か所の民間情報センター（ Puspemas ）を県または都市に設置した。そ

の役割は上からの情報を一般に伝え，一般の下部情報を上層部に伝える活動である。このために3,840台のテレビが備えられ，各部には3,300台のラジオが配給された。

B．質的，量的情報供給に力が入れられ，国営映画（ＰＦＮ）の生産が増強された。

国営ラジオ（ＲＲＩ）は国内のみならず，対外放送にも活躍している。日本語，タイ語の放送のほか，インドネシア語，英語，フランス語，アラビア語，中国語，マレー語による放送も行われている。対外放送の時間は11時間である。 1969年からジャカルタ，ヨクヤカルタおよびスマランで放送学校が開かれている。

テレビは，すでに全ての第1級自治省で受像されており，ジャカルタ，メダン，パレンバン，ヨクヤカルタ，バリクパパンおよびウジュンパンダン，スラバヤ，デンパサールおよびメナドの9局にスタジオがある。

C．新聞の発展は，自由かつ責任ある言論を土台とする。責任をもつということは国家の安定を強化することに協力することである。そのために民族紙に対しても，外国人新聞記者に対しても監視を行う。インドネシアに輸入される外国刊行物は担当官庁によって検閲される。能率的に処理するため定期的に関係官会議が開かれる。

新聞の発展のために新聞紙輸入税軽減の援助を与えている。地方の新聞に対しては新聞紙の運賃に援助が与えられている。

新聞印刷業は，国内投資企業（ＰＭＤＮ）としての便宜が与えられている。

D．情報手段の改善のために調査を行うが，大学の協力も求めている。

E．情報関係の公務員の質的向上のために，各種の研究を行う。

インドネシア民族の大部分は村落に住んでおり，いまなお伝統的な文化を背景としており，比較的低い経済生活を営んでいる。したがって，開発のいろいろな構想を説明するのが困難である。したがって村落向けの情報伝達には特別の注意を払う必要がある。

情報関係では技術的にも人事的にも充分でない。ラジオ，テレビ，映画などの分野でも技術者の数が少ない。また，ラジオの電波は全国に及んでいない。ある地方では外国の放送を受信している。テレビは第1級自治省とその周辺で見られるだけである。映画も生産される分量が非常に少ない。しかし，映画の果たす影響力は非常に大きい。

Ⅲ 政策と対策

A．一般政策

1. 情報の地方への拡大

情報政策は既存の情報施設を通じて村落まで報道を公平に与えようとするものである。この政策は国民の大部分が村落に住むという考慮に基づいているが，開発計画については，特に農業および農民に関係のある開発事業に重点が置かれている。

2. 開発と相互情報の発展

国民を開発に参加させることは，彼らに責任を感じさせ，開発の諸問題の解決に協力させることである。したがって啓蒙の流れは上部から下部だけでなく，下部から上部への反響もなければならない。かくして政府と国民との間に呼応することができるのである。マスコミは，この対話によって相互に説明を与え，また要請を受け入れることができる。

3. 文化的手段による啓蒙活動

啓蒙は価値に基づき，これを伝達する努力であるとするならば，本質的に文化こそ開発実施を遂行する力の源泉となる。この見方に従えば，われわれの心のなかに生きている価値観こそ，今行っている開発は文化的願望によって具現されるものである。だからこそ文化的アプローチによって啓蒙が行われなければならない。

4. 適切な啓蒙制度の採用

啓蒙活動を適切に高めるためには，中央政府および地方政庁の啓蒙担当者と一般の社会啓蒙者の密接な連絡が必要である。その調整があってこそ，無用の努力なしに効果をあげることができるのである。

地方政庁は地方生活調整機関（ Bakohumas Daerah ）の活動を活発化させる。県および都市水準では社会啓蒙センター（ PUSPENMAS ）の活動を積極化する。

以上の政策に従って，第Ⅱレプリタには下記目標による対策を進める。

(a) 特に村落のために啓蒙の施設を拡大強化する。

(b) 啓蒙の質的，量的向上を図り，より良い調整を行う。

(c) 啓蒙担当者，歌手，オペレーター，編集者，カメラマンなどの技術向上のために教育，研修を行う。

(d) 効果をあげるために啓蒙活動制度を改善する。

(e) 健全な新聞を発展させる。すなわち，自由かつ責任ある活動のもとに記者を指導し，印刷施設を革新する。

(f) 伝統的のみならず近代的マスコミの通信網を発展させ，村落まで啓蒙を徹底させる。

5. 新聞，印刷，映画，広告業の形成

新聞業，印刷業，映画業および広告業は，啓蒙のための促進的活動をなすものであるから，その許可制度は再検討しなければならない。許可条件で適切でないものは廃止し，手続きも迅速かつ簡素化しなければならない。

差し当たり，印刷，映画，テレビなどの国営企業を発展させ，経済的にも国家財政を助けるほどに発展させる。

B. 政策と計画

1. 啓蒙活動の発展

啓蒙活動の強化は，政府と一般社会，その社会のグループ，特に郡と村落において，村落協議機関，集会所などを通じて話し合いを行う機会を多くすることである。そのために家族の長，宗教関係の顔役，伝統的祭礼の指導者，社会の長老などはその村落社会の意見を代表して，より有効的に参加することになるであろう。その活動は地方政庁と協力して行う。

地方では中央の諸省間で啓蒙の調整を行い，国策の大綱のなかに述べられたような開発の意味と目的が解るように大衆に説明する。

対外情報活動では，(a)ASEAN地域，西南太平洋，開発途上国，国際諸国との協力と友好のために政府の活動を側面から助力している。(b)インドネシアの開発参加のために外国の関心をひく。(c)外国における反インドネシア分子の活動を抑える。(d)在外インドネシア代表機関が集めた情報の頻度と数量を増加する。

一般的情報活動でも，下記の努力を払う。

(a) 展示，対面による啓蒙の内容，方式，頻度を高める。
(b) 歌による方法，内容，ポスターなど，解りやすくする。
(c) 啓蒙者と大衆との親しみを高める。対話を有効にするためである。
(d) 質の高い映画によって啓蒙を容易にする。
(e) 伝統的方法で援助する。
(f) 長老を動員して大衆を啓蒙する。
(g) コンテスト，懸賞なども利用する。
(h) 地方の情報伝達機関を利用する。
(i) 開発プロジェクトのための啓蒙を行う。
(j) 伝統的啓蒙方法を開発の啓蒙に活用する。

インドネシア国民の大部分は地方に住み，農業から収入を得ているので，次のような方法をとる。

(a) 社会代表に対して，さらに明確な解説を与える。
(b) 大衆の演出の潜在力を利用する。
(c) 開発のための展示会を改善する。
(d) 合理的，公開的方式で意見を述べさせるために心理的障害を除去する。

2. ラジオ，テレビ，映画，通信社施設の振興

〔ラジオ〕

ラジオ施設開発政策は，ラジオ放送の効率を高めて，国民の忠誠心を作興し，統一を強化し，開発への国民参加を図ることにある。放送の質，内容および番組放送の技術を高めると共に，国内向けおよび海外向けの放送網をより完備する。

上記の目的を達成するために，下記の諸施策を講ずる。

(a) 内外向け放送技術をさらに改善する。

(b) スタジオ施設を改善し，技術教育を高める。

(c) 内外のラジオ受信を良くする。

(d) ジャカルタの国民放送プログラムを充実し，FMによって地方の放送局へ送信する。

(e) ジャカルタ放送を段階的に改善する。

(f) 教育のためなどの特別放送，地方向け放送などを行う。

〔テレビ〕

ラジオと同じ目的を達成するために下記の施策を講ずる。

(a) 放映の質的，量的改善を行い，事件，開発に関してはVTRを利用する。

(b) インドネシアの西部，中部および東部への放映時間を拡大する。

(c) テレビ局の放映を増加する。

(d) テレビ受信地域を拡大する。

(e) 地方テレビのプログラムを受信して，これを全国に放映する。

〔映　画〕

(a) 解説，宣伝用の映画を増産し全国の映画館に上映させ，定期的に県単位まで巡回上映させる。

(b) 海外向け映画を製作し，在外公館を通じて関係国で上映する。

(c) 教育映画を製作し，授業用，青年向けに用いさせる。

(d) 映画製作の施設を改善する。

映画企業発展のために民族映画の製作を可能にし，またその質的向上を指導する。

〔通信社〕

(a) 自由かつ責任ある新聞の発展のために報道の材料を提供するが，その目的はパンチャシラと1945年憲法に基づく国家目的達成のためである。

(b) 内外に供給する通信をさらに質的に改善する。

(c) 国民を開発に参加させるための通信形成に努力する。

(d) 国民を団結統一させ，対外的理解と友好を深めるために協力する。

以上の目的を達成するため，通信社に次ぎの活動を行わせる。

(a) 通信社の活動を高めさせ，取材の範囲を拡げ，迅速に，質の良い通信を責任をもって行わせる。

(b) ジャーナリズムを発展させる。

(c) 中央から地方への問題に関する通信情報の流れを活発にする。

(d) 通信者の記者の資質を高める。

(e) 外国の通信者と協力させる。

3. 新聞の形成と発展

健全な新聞の発展を保証し，開発における新聞の役割を高めるため，民族新聞の革新および発展のために，次ぎの施策が講じられる。

(a) 新聞基本法を再検討し，責任ある新聞企業において開発の基本的問題を取り扱わせる。

(b) 新聞の地方への普及を図らせ，地方への輸送問題の解決を容易にする。

(c) 新聞機関および大学と協力して新聞革新に関する書籍を再版する。

(d) 新聞発行機関，記者業，広告業，新聞販売代理者，新聞印刷等の革新。

(e) 企業および編集の面から，極めて必要な施設の発展状態を記録する。

(f) 民族新聞と民族印刷所の展示会を開き，新聞と政府の協力を深める。

(g) 新聞の対外協力はＡＳＥＡＮ地域，非同盟さらに諸外国との間に強化する。

(h) 新聞印刷業は国内投資企業（ＰＭＤＮ）として取り扱い，税の軽減，紙・その他の材料輸入税の便宜を図る。

(i) 新聞生産，配給面で本省／担当政庁間の協力を強化する。政府の出版は政府の政策に従って社会のあらゆるグループに提供する。

(j) 購買力のある社会を対象として段階的に新聞の発行を増加し，読者を拡大する。

(k) 印刷業を革新し，機械を標準化して有効に利用できるようにする。

(l) 国営印刷，政府印刷の法規を改め，政府と民間との需要を充たすようにする。

4. 情報，新聞，マスコミの調査

情報の調査活動は，この部門における諸問題を確決するためのもので，効果的な啓蒙，情報制度を発展させ，かつ開発に国民を参加させるためのものである。その調査の結果は，ゼミ，シンポジウム，担当官会議において利用され，第Ⅱレプリタの問題解決に用いられる。

5. 情報，新聞，マスコミ関係教育

この計画は中央，地方において啓蒙に関係ある要員の知識，技能を高めるためのもので，講習会，研修その他の方式をとるが，その内容は下記の通りである。

(a) 啓蒙活動に従う郡，県，地方省の啓蒙員ならびに補助員である村落事務員の研修，練成を強化する。

(b) 啓蒙技術を向上させる。

(c) ラジオ，テレビ，映画の技術員を養成し，新設スタジオの需要を充たす。

(d) 新聞，印刷の技能を向上させ，記者に教育を与えるために諸機関に協力させる。

(e) 印刷，出版の部門においても技術，能力を向上させる。

6. 政府機構の能率化と監査

(a) 平常任務および開発に関する啓蒙および情報活動の政府機構の能率および効率を高める。

(b) 平常ならびに開発における勤務計画が，定められた政策または企画通りに遂行されてい

るか否かの管理および検査を強化する。

以上の機構の能率向上のために次の施策を実施する。

(a) 行政上の啓蒙のみならず開発に関する啓蒙において，企画，調査および評価の能力を高める。

(b) 公務員機構に経歴ある要員を任命し，また能力ある者を抜擢し，事務能率を高める。

(c) 浪費をもたらす職務上の逸脱，汚職を規制するために勤務を粛正する。

(d) 財政，施設，事務所，調査などの事務を完全にする。

(e) 組織，業務を改善し，材料などの取扱機構を改善し，報告制度も完全にする。

(f) 啓蒙，情報部門の政策に関する報告制度を改善する。

監督は，下記の通り実施される。

(a) 管理，監督をさらに完全にするために管理，監督の規準を作成する。

(b) 管理，監督の材料のため，データを集め，これを整理する。

(c) 能力，知識，技術に関する職務上の管理を向上させる。

(d) 平常的，レプリタのプロジェクトに関する業務の管理，監査を強化する。

(e) 一定の目的を達成するため，企画が充分であるか否かの評価および分析を行う。

(f) 政府管轄下の機関によって行われる計画実施に対して職務上の管理を強化する。

(g) 下部機構によって実施される組織単位の指導者の職務管理を強下する。

7. 政府の既存施設の改善

この活動は第Ⅱレプリタの開発部門の情報，啓蒙活動を支えるために必要な中央および地方政庁の施設を完備させようとするもので，地方における事務所建設は第1級自治省および県の主都に開設する。

〔25－1表〕

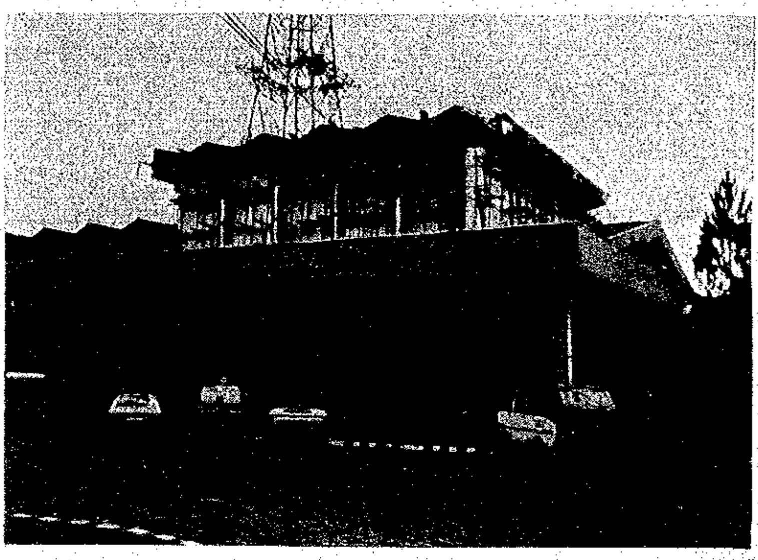
啓蒙，新聞，マスコミ予算（1979／80－1983／84年）

（単位：100万ルピア）

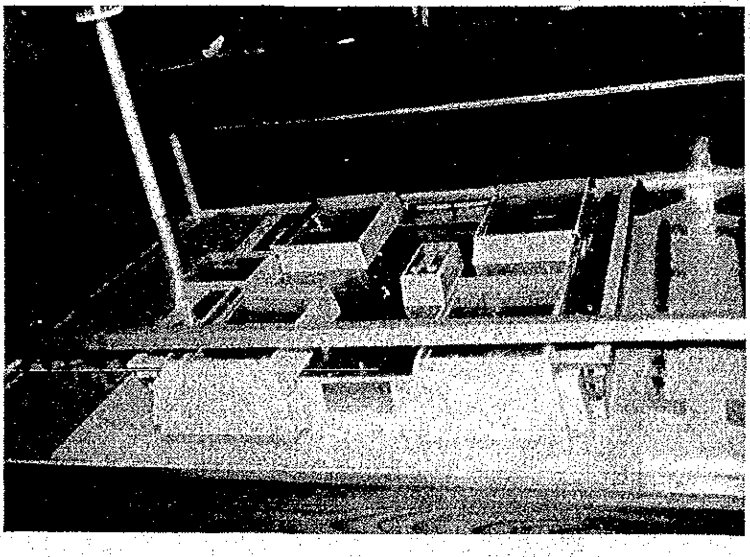
	79／80年	79／80－83／84年
部門総予算	17,392	150,960
啓蒙活動振興計画	6,800	53,500
ラジオ，テレビ，映画施設振興計画	9,642	90,110
新聞形成，振興計画	950	7,350

7. 調　査　ス　ナ　ッ　プ

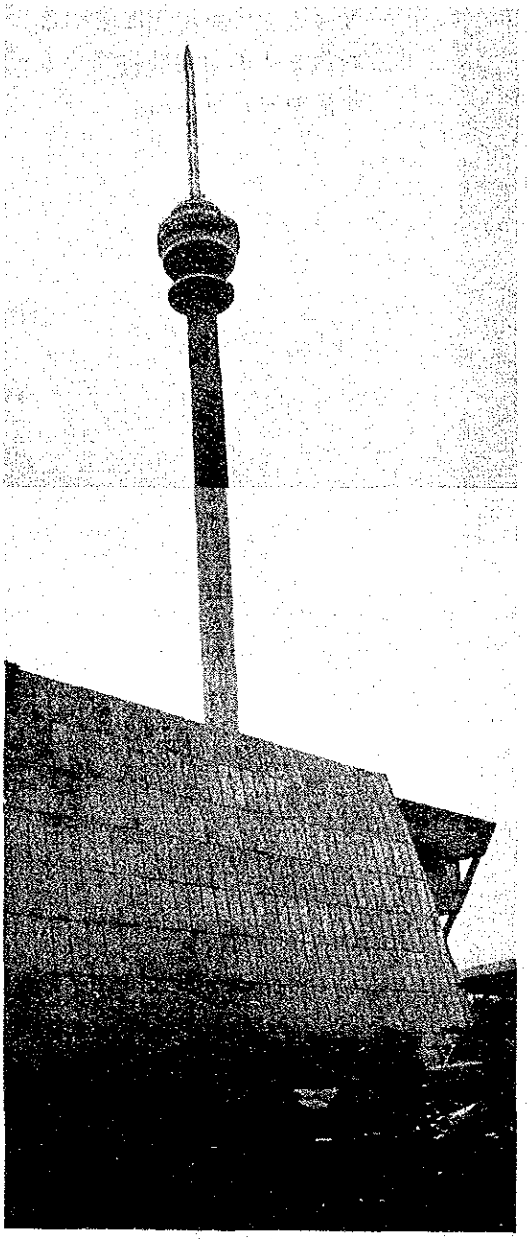
・サイト中央を南北に横切る村道とその東側に展開する研修棟建設予定地。



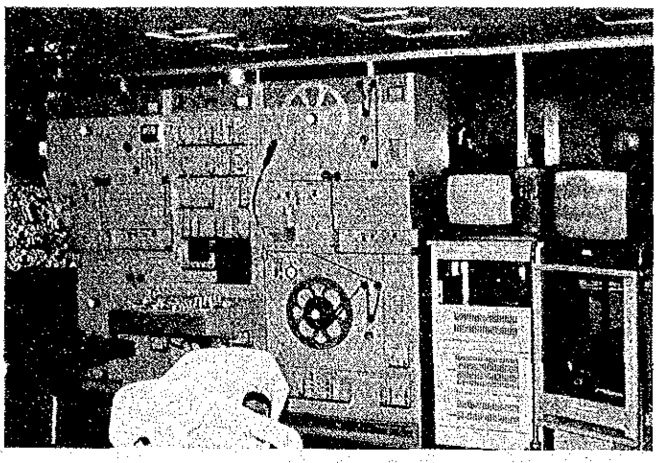
・国営テレビ（ＴＶＲＩ）ジョクジャカルタ放送局。市の中心からは４㎞ほど離れたところ。



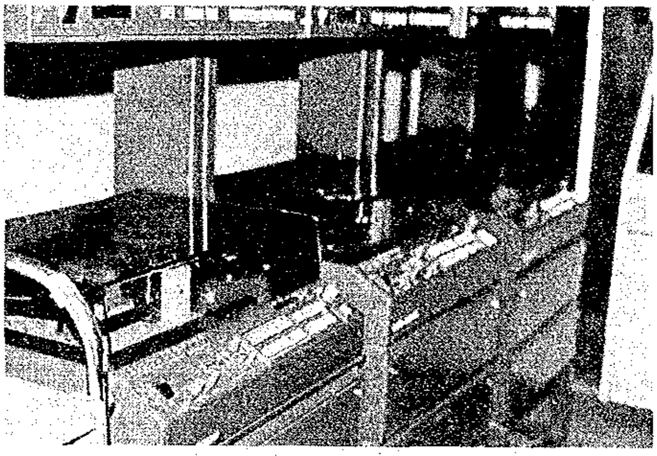
・ＴＶＲＩ　ジャカルタ放送局。訓練センターの隣接地に建設中のプロダクション・コンプレックス模型。（完成は1984年度から始まる第４次５か年計画終了前後。ただし，スタジオの一部は間もなく建設を終り，機材のinstallationが行なわれる予定。）



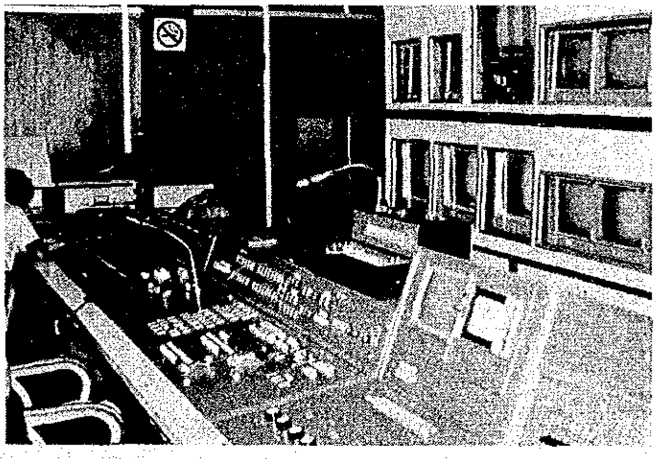
・プロダクション・コンプレックスの建築現場。（後方は，テレビ・タワー。展望台までの高さは135mとのこと。）



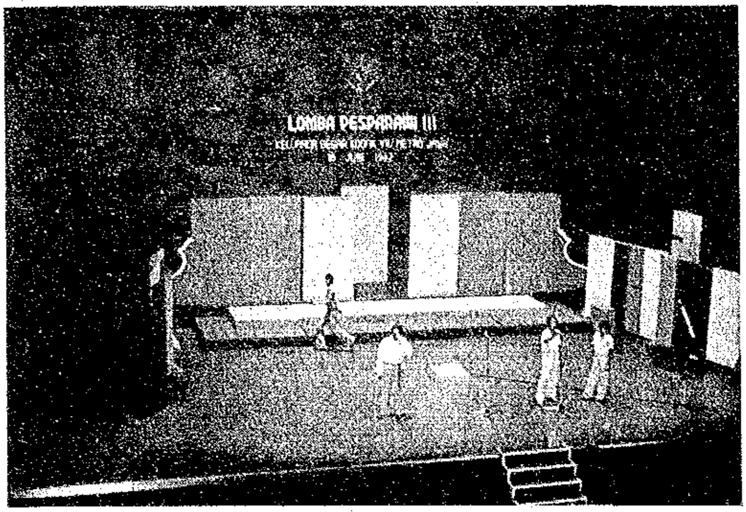
・TVRIジャカルタ局のテレシネ室。



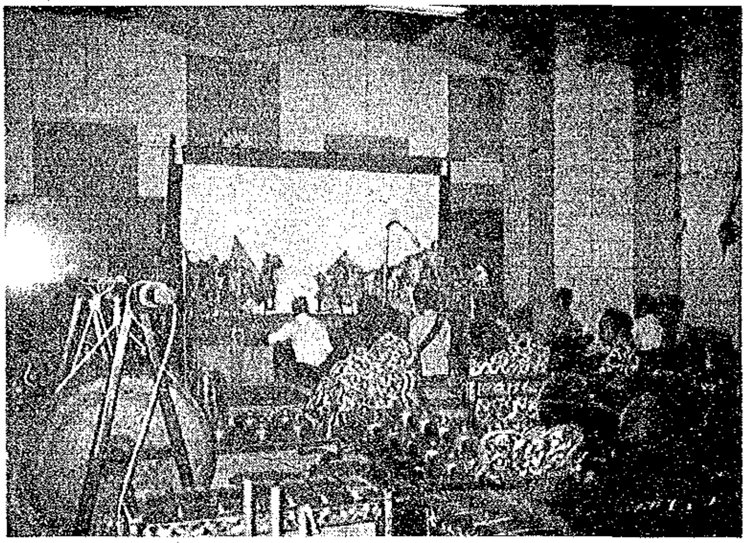
・VTR室。



・副調整室。



・客席数800のラジオホール。ここでコンサートなど大きな催しも行なわれる。



・ここはラジオスタジオ。ワヤン（影絵）独演のリハーサル風景。
・ワヤンは，この国では最も人気のある伝統メディア。そこで，政府はこれを使って家族計画など国のポリシーの徹底をはかろうとしている。

付　属　書　類

1. ミニッツⅠ（1981年2月2日署名）

MINUTES OF THE DISCUSSION ON
THE ESTABLISHMENT PROJECT OF RADIO AND TELEVISION
BROADCAST TRAINING CENTRE IN THE REPUBLIC OF INDONESIA.

In the request of the Government of Indonesia, the Government of Japan sent a preliminary study team headed by Mr. Yasuaki Nogawa, Asst. Director, the Second Economic Cooperation Division, Ministry of Foreign Affairs to the Republic of Indonesia to carry out a preliminary study for the Establishment Project of Radio and Television Broadcast Training Centre as part of the Multi Media Training Centre in the Republic of Indonesia starting from January 26 to February 6, 1981.

The team has conducted the field survey, visited location of construction, training facilities, and exchanged views through a series of discussion with officials of the Government of Indonesia on the Establishment Project of Radio and Television Broadcast Training Centre in Yogyakarta, Indonesia.

As a result of the survey and the discussions the Japanese team and the Indonesian Ministry of Information agreed that the Study team will submit study report to the Government of Japan to facilitate the successful, early realization of forthcoming basic design study for the Establishment Project of Radio and Television Broadcast Training Centre in the Republic of Indonesia.

Referring to the previous discussion and correspondence between the Indonesia Government and Japanese Government, the Ministry of Information expects that this project would be implemented in fiscal 1981.

The major issues confirmed by the Indonesian and Japanese counter-parts, are attached herewith the Annex.

The major issues discussed by the Indonesian and Japanese counter-parts are attached herewith in the Annex II and III in terms of one proposal each for the further study in details.

Mr. F. R A C H M A D I.	野川保晶
	Mr. Yasuaki Nogawa,
For the Director General,	Leader,
Research and Development,	Japanese Preliminary Study
Ministry of Information.	Team.

Jakarta, February 2, 1981.

ANNEX I.

1. Obligation of Indonesian Side.

   1. Land acquisition.
   2. Land reclamation.
   3. Improvement of access road.
   4. Utility services, such as, water, sewage, fuel (kelocine or gas), power, telephone, etc.
   5. Expenditure of custom duties on imported goods, warehousing charges, inland transportation cost, taxes, and fees, etc.
   6. Port of destination : Surabaya Port.

2. Desirable Location of Construction.

   1. Training Centre : Kalurahan Sinduadi, Kecamatan Mlati, Kabupaten Sleman, Yogyakarta, Indonesia. adjacent to the Yogyakarta TVRI.
   2. Dormitory and Instructors' housing (financed by the Government of Indonesia).:
      The dormitory and instructor's housings should be located near the training centre to the possible extent.

ANNEX II. (Team's Recommendation).

Outline of Training Centre proposed by the preliminary survey team.

1. Total Scale of Building (floor area) — Approx. 3,000 m^2.

2. Outline

- Radio studio	one unit.
- TV Studio	one unit.
- Master control room	one unit.
- Sub-control room	one unit.
- Telecine room	one unit.
- VTR room	one unit.
- Laboratory	one unit.
- Transmitter room	one unit.
- Film processing room	one unit.
- Lecture room	four units.
- Conference hall (that can be used for two lecture rooms)	one unit.
- Indispensable training equipment.	

S.7.

ANNEX III.

Outline of Training Centre proposed by Ministry of Information of the Republik of Indonesia.

1. STUDIOS .... 1750 m^2.

2 Television	(450 m^2/200 m^2).
1 Film	(450 m^2).
1 Radio/Dubbing	(150 m^2).
1 Radio (for talks)	(100 m^2).
1 Radio booth	(75 m^2).
1 TV booth	(75 m^2).
1 Sound recording	(250 m^2).

2. PRODUCTION ROOMS. .... 1765 m^2.

2 TV production control	(25 m^2).
1 TV programme continuity	(50 m^2).
1 Radio production control	(50 m^2).
1 Radio programme continuity	(50 m^2).
1 Dubbing control	(45 m^2).
1 Tape recorder	(55 m^2).
1 Sound recording control	(50 m^2).
1 Film sound control	(50 m^2).
2 TV Audio control	(25 m^2).
1 Master control	(150 m^2).
3 TV/Film lighting control	(40 m^2).
1 TV telecine	(150 m^2).

8.7.

1 TV VTR (100 m2)

2 TV VTR Editing (ea.40 m2)

3 Radio Editing (ea.15 m2)

3 Film Editing (ea.40 m2)

2 Film Editing (ea.25 m2)

1 Film laboratorium (400 m2)

1 Animation room (100 m2)

3\. MAINTENANCE ROOMS/LABORATORIES 900 m2

1 Lab Radio Frequency (50 m2)

1 Lab Audio (50 m2)

1 Lab Video (50 m2)

1 Lab Electronic (50 m2)

1 Lab Film equipment (50 m2)

4 Lab for field-equipment (ea.50 m2)

1 Lab for field-equipment (100 m2)

1 Workshop electronic (50 m2)

1 Workshop properties (200 m2)

1 Graphic department (100 m2)

4\. OFFICE ROOMS 5000 m2

2 Language laboratories (ea. 100 m2)

1 Auditorium (400 m2)

3 Classrooms* (ea.60 m2)

3 Classrooms* (ea.40 m2)

4 Classrooms* (ea.30 m2)

(* measurement based on 3 m2/student)

3 Conference rooms (ea 75 m^2).

Office space for approx.

300 personnel, garages,

libraries, archives (3775 m^2).

CORRIDORS/LAVATORY . . . . (650,2).

Based on the training and production rooms it is roughly estimated to require the following equipment :

5. TELEVISION.

STUDIO EQUIPMENT.

- 4 Colour cameras (450 m^2).
- 1 Audio mixer
- 2 Turntable.
- 2 Tape recorder.
- 1 Vision mixer.
  (incl. trick facilities).
- 1 lighting desk.
- 1 Reverberation unit.
- Wireless microphones.

- 3 Colour cameras (200 m^2).
  1 Audio mixers
  2 Turntables.
  2.Tape recorder.

R 8/II

1 Vision mixer.

(incl. trick).

1 lighting desk.

Program Continuity :

1 Colour Camera.

1½ Audio mixer.

2. Turntable.

2. Tape recorder.

1 Vision mixer

(incl. trick).

1 Lighting desk.

Video Tape Recorder :

6 - 1" Professional video Tape recorder.

2 - 1" Portable ENG units.

Video Tape Recording Editing. :

2 Units, each equiped with vision mixer, audio mixer.

TITLING MACHINE :

1 Unit Character Generator.

1 Unit Subtitling Generator.

TELECINE : 4 - 16 mm film scanner

2 - 35 mm film scanner

2 - 8 mm film scanner

2 - slide scanner

2 - caption scanner

6. RADIO -

STUDIO EQUIPMENT

Radio/Dubbing : 1 Audiomixer

3 turntabel

2 cassette player

4 tape recorder (1")

(1 equiped with pilot synchronization)

1 cordmachine 16 mm

1 cordmachine 35 mm

1 film synchronization unit

1 film projector 16 mm

1 film projector 35 mm

1 reverberation unit

Radio continuity : 1 audiomixer

2 turntable.

2 taperecorder

1 stereo FM/AM/SW relay receiver.

Radio (for talks) : 1 audiomixer.

2 turntable.

2 tape recorder.

Soundrecording	: 1 audiomixer
	1 - 24 channel taperecorder
	2 taperecorders
	1 echo unit
	1 reverberation unit
Sound editing	: 3 x 1 qudiomixer
	1 turntabel
	3 taperecorders
	1 cassette recorder

7. FILM

Studio	: 1 lighting desk
	1 audiomixer
	2 synchronized taperecorder.
Camera	: 2 - 35 mm
	6 - 16 mm
	2 - 8 mm
	4 stillpicture camera 35 mm
	2 stillpicture camera 6 x 6
Sound	: 8 sound film recorder
Lighting	: 10 unit
Laboratorium	: 1 reversal processing machine 35 mm.
	2 reversal processing machine 16 mm
	1 reversal processing machine 8 mm
	1 foto processing machine
	1 additive printing machine 35 mm
	1 additive printing machine 16 mm
	2 foto enlarger

1 lightgrading table 35 mm

1 lightgrading table 16 mm

1 sensitometer

2 densitometer

1 unit chemical analyser

2 unit chemical mixer

Editing : 1 tab : 6 plate 35 mm

4 tab : 6 plate 16 mm

2 viewer 16 mm

1 table 6 plate 8 mm

Animation: 2 units animationstand

8. MAINTENANCE/LAB EQUIPMENT

LAB. RADIO FREQUENCY

- RF VOLT METER
- AF/RF GENERATOR
- SPECTRUM ANALYSER
- 100 MHZ OSCILLOSCOPES
- 10 KHZ - 1 GHZ FREQ COUNTER
- RF SWEEP GENERATOR
- DUMMY LOAD
- VHF - UHF TEST RECEIVER
- FIELD STRENGTH METER
- PRECISION AM METER
- TV DEMODULATOR
- AM/FM DEMODULATOR
- TV TRANSMITTER EDUCATION UNIT
- M.W. EDUCATIONAL TEST BENCH
- EDUCATIOCAL ANTENNE TEST BENCH

- AM/SSB/FSK/CW Transceiver.
- Sideband analyser
- Stereo signal gen.
- DC Generator (power supply).
- Small AM/FM Radio Transmitter.
- AF Generator.

LAB AUDIO

- AF Generator.
- Accoustic and Vibration Measurement.
- Sound lebel measurement.
- Distortion meter.
- WOW & Flutter meter.
- Stereo coder.
- Stereo decoder.
- AC/DC Power supply.

LAB VIDEO

- Vectorscope.
- Videotest Signal Gen.
- Group delay measurement.
- Colour bar Generator.
- Video test Generator.
- VIT. noise generator.
- Insertion signal gen.
- VIT. Inserter.
- Video Distortion analyser.
- TV Waveform monitor.
- Videoscope (Sweep Gen).
- Frequency Counter.
- DC Power supply.

LAB ELECTRONIC

- FREQ COUNTER
- AF/RF GENERATOR
- VTVM
- AC/DC POWER SUPPLY
- DIGITAL TRAINING KIT
- COMPUTER TRAINING KIT
- 100 MHZ OSCILLOSCOPE
- CURVE TRACERS
- LOGIC ANALYZERS
- FREQ STANDARD
- INDUCTANCE METER
- CAPACITANCE METER

9.. AS MENTIONED IN 5.2., IN THE LABORATORIES THE EQUIPMENT WHICH IS USED IN THE STATIONS/PRODUCTION UNITS SHOULD BE AVAILABLE:

E.G.: LAB VTR

LAB CAMERA/VIDEO

LAB SOUND/AUDIO

LAB TRANSMITTER

LAB FILM

WORKSHOPS ELECTRONIC AND PROPERTIES WITH THE RESPECTIVE EQUIPMENT

10. 1 OB van Unit Radio

1 OB van Unit TV

R 2/11

2. ミニッツⅡ（１９８１年9月２５日署名）

MINUTES OF DISCUSSION ON
THE CONSTRUCTION PROJECT OF
RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE

In response to the request of the Government of the Republic of Indonesia, the Government of Japan has sent, through the Japan International Cooperation Agency which is an official agency implementing the technical cooperation of the Government of Japan, a team headed by Mr. Minoru ISHIDA, Second Economic Cooperation Division, Economic Cooperation Bureau, Ministry of Foreign Affairs, to conduct a basic design survey on the construction Project of Radio and Television Training Centre (hereinafter called the "Project") for 21 days from September 13, 1981.

The Team had a series of discussions and exchanged views with the Indonesian counterpart's party headed by Mr. F. RACHMADI, Director, Centre of Research and Development of Information System, Ministry of Information.

Both parties have agreed to recommend their respective Governments and the authorities concerned to examine the result of the survey attached herewith toward the realization of the Project.

September 25, 1981. Jakarta.

Minoru ISHIDA
Head,
Japanese Survey Team

F. RACHMADI
for the Director General,
Information Research and Development,
Ministry of Information.

ATTACHMENT.

1. The objective of the Project is to provide necessary building, facility and equipment for the radio and television training project in Yogyakarta.

2. The Radio and Television Training Centre (hereinafter called the "Centre") will be a part of Basic Training Centre Radio - TV - Film/An Integrated Multi Media - Training Centre projected to be opened at April, 1984 in Yogyakarta by the Ministry of Information.

3. The Indonesian Side expects that it will carry out the basic training for about 9 months and train around 700 personnel a year in the Centre.

4. The Japanese Survey Team will convey the desire of the Government of Indonesia to the Government of Japan that the Government of Japan will take necessary measures to cooperate in implementing the Project and will provide the training facilities as listed in Annex I within the scope of Japanese economic co-operation in grant form.

5. The Team confirmed that the Indonesian Side understood the system of Japan's Grant Aid Programme to be extented by the Government of Japan, especially the arrangements to be taken by the Government of Indonesia (as agreed in the Minutes for this Project dated on February 2, 1981).

6. In relation with the Center, the Indonesian Side will consider to add some facilities to be financed . by the Government of Indonesia as listed in Annex II.

7. The proposed site for the Centre is shown on the map of Annex III.

8. The Japanese Side will carry out the basic design work and the lay-out for the Centre in line with the overall MMTC project under consultation with the Indonesian Side.

ANNEX I.

Items requested by the Government of Indonesia whose cost will be borne by the Government of Japan are shown as follows:

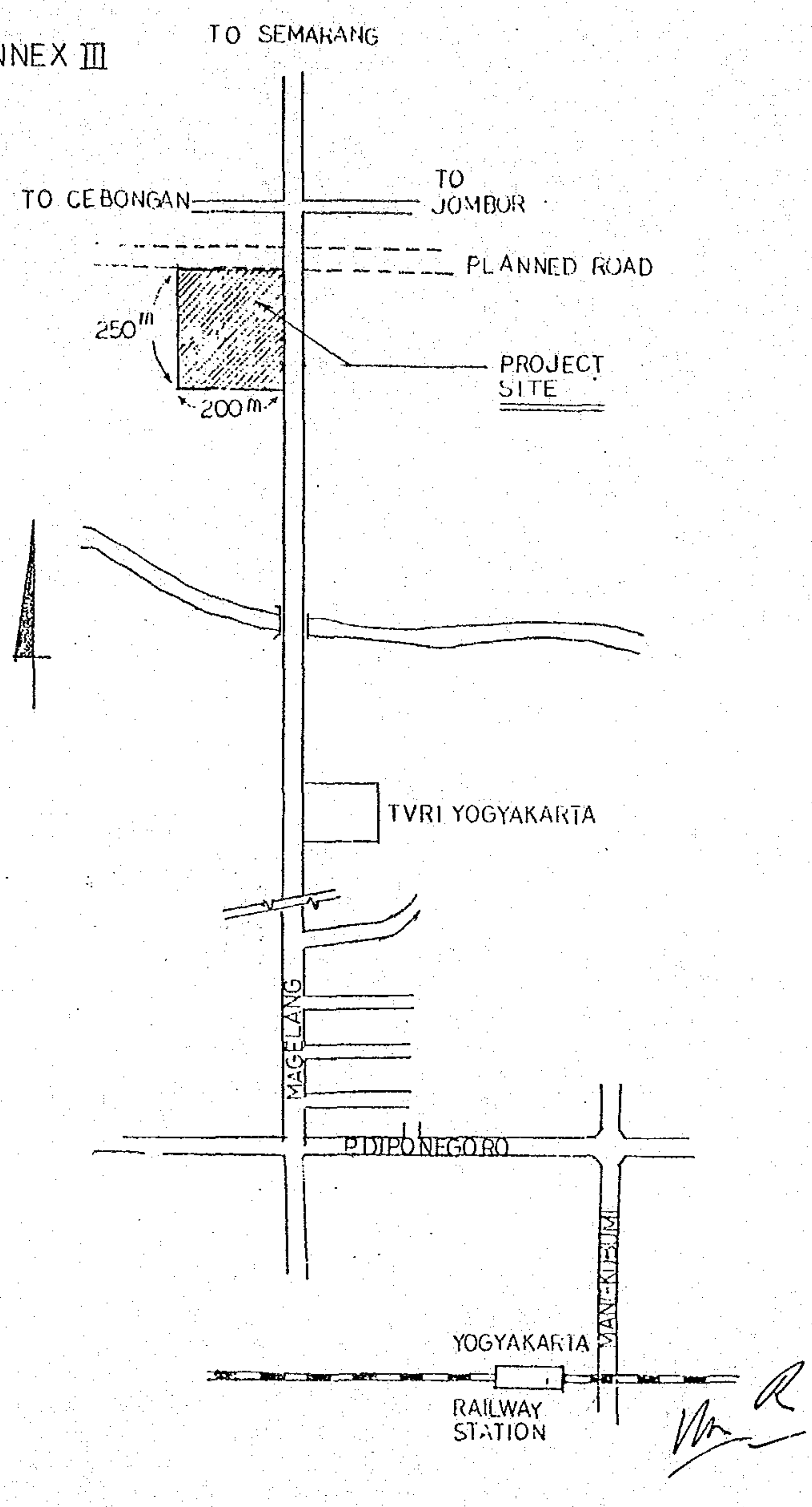
1. Building and Facility. (approximately 6,000 M^2, 2 stories)
   - (1) T.V. Studio
   - (2) Radio Studio
   - (3) Production Control Rooms (T.V. & Radio)
   - (4) Programme Control Rooms (T.V. & Radio)
   - (5) T.V. Booth
   - (6) Radio Booth
   - (7) Editing Room
   - (8) Master Control Room
   - (9) V T R Room
   - (10) Telecine Room
   - (11) Film Processing Room
   - (12) Transmitter Room
   - (13) Laboratory
   - (14) Lecture Rooms
   - (15) Library
   - (16) Offices and others.

2. Equipment.
   - (1) T.V. Studio Equipment
   - (2) Radio Studio Equipment
   - (3) Transmitting and Monitering Equipment
   - (4) Power Supply Equipment
   - (5) Measuring Instrument.

ANNEX II.

1. Radio Studio (News).
2. Anouncer Booths.
3. Master control Room (Audio Recording).
4. Editing Room.
5. T.V. Studio (News).
6. Art Design Room
7. Make-up Room
8. Editing - Dubbing Room.
9. Lighting Control Room..
10. Animation Room.
11. Properties.
12. T.V. Programme Library.
13. Transmitter Control Room.
14. Telecommunication Room.
15. Workshop.
16. Laboratory.

ANNEX III


TO SEMARANG
TO CEBONGAN
TO JOMBOR
PLANNED ROAD
250 m
200 m
PROJECT SITE
TVRI YOGYAKARTA
MAGELANG
P. DIPONEGORO
MANGKUBUMI
YOGYAKARTA
RAILWAY STATION

3. ミニッツⅢ（１９８２年2月１２日署名）

MINUTES OF DISCUSSIONS

THE DRAFT REPORT OF THE BASIC DESIGN FOR THE

. CONSTRUCTION PROJECT OF

RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE

1. The Government of Japan has sent, throuh Japan International Cooperation Agency (JICA), a Basic Design Confirmation Study Team from 7 to 13, February 1982 submit the Basic Design Report (draft) on the above mentioned project.

2. The Team held meeting with the Indonesian Counterpart to explain and to discuss the draft report.As result of these discussions, both parties agreed that revision be made as specified in the enclosed attachment (I & II).

3. All revisions mentioned above, after completion by Japanese side, will be sent to the Indonesian Government for confirmation before execution.

4. The Team confirmed that the Indonesian side understood the system of Japan's Grant Aid Programme to be extended by the Government of Japan, concerning the arrangements to be taken by the Indonesian side as agreed in the Minutes for this project dated on September 25, 1981, especially on:

   1) Procedure of Grant Aid

   2) Process of implementation.

MR. MINORU ISHIDA

Leader,
Japanese Study Team

F. RACHMADI

For the Director General,
Information Research and Development,

Ministry of Information

Jakarta, February 12, 1982

Attachment to MINUTES OF THE DISCUSSIONS I

1. The training equipment lists as set down in the draft report (pages:4-13, 4-14, 4-15, 4-16, 4-19, 4-20,4-21, 4-22 and all related explanations) will be revised in accordance with agreed revised draft attached to this minutes.

2. The Basic Design of the buildings as set down in the draft report (dwgs. no. 5-2, 5-3-1, 5-3-2, 5-4-1, 5-4-2, 5-5) and related explanations) will be revised specifically on the points specified in the enclosed attachment.

3. Plan as described on item 3 - 5 (page 3 - 8 to 3 -20) and item 3 - 6 (page 3 - 21 to 3 - 23) will be studied further by Indonesian side).

Attach ment to MINUTES OF THE DISCUSSIONS II

Page	Line no (from the top)	Agreed Revision
S - 6	5	The execution of detailed design and construction works will be carried out in accordance with Japanese Grant Aid System in consideration with the Indonesian regulation, based on the Master Plan prepared by the local consultant. A local consultant will be appointed and financed by Indonesian Government for the purpose of evaluating the aboved mentined works to ensure that these works are in 'accordance' to the Master Plan.
2 - 2	16	...... the Japanese side will cooperate with are a major part of the radio and television media, while remaining parts and the film media ....
2 - 17	11	In this stage, the Japanese side recommend that it would be important ....
2 - 17	13 to 17	to be deleted
2 - 19	17 to 20	The largest time ... (to be deleted)
2 - 22	18 to 2 -23, 21	to be deleted
2 - 40	4	(5) TVRI T/C, RRI T/C and together with the Departement of Information are entitled to plan and compile training curriculums.
2 - 43	11	... instructors only from the Departement of Information , TVRI and RRI.
2 - 43	12 to 14	but also .... etc (to be deleted)
2- 44	-	Sobject to change, to be added following the diagram
2 - 48	-	Should be changed to new picture
3 - 10	-	(4) office personnel to be changed administration staff

Page	Line no (from the top)	Agreed revision
4 - 5	additonal item	(7) To facilitate convenient maintenance of the technical facilities, care should be taken to provide means to detect breakdown and execute operation and repair of those facilities.
4 - 6	7 (point 2 to be changed)	(2) The system*) of equipment and it's technical specification should be in accordance with CCIR broadcasting standards and should not be lower than those of RRI and TVRI TC in Jakarta.
4 - 30	deleted to be changed	new. All facilities not covered under the grant aid project will be constructed by the Indonesian side.
4 - 31	9 (one paragraph to be changed)	. The standard quality of the broadcasting facilities such as studio of radio and television TC should not be lower than those of RRI and TVRI TC in Jakarta.
4 - 32	drawing	Should be changed
4 - 35	diagram	Should be changed to "Space for film and remaining training facilities for radio & tv."
4 - 41	point (3)	to be deleted the first one paragraph.
5 - 2 until 5-7	(all page to be changed base on:	- Re arrangement of Building- Mass Lay out Block Plan in accordance to principle integration. - Re arrangement of technical rooms lay out in relation to the studios designed by the Japanese side in accordance with design of the Master Plan. - The use of new structural module throughout the whole complex in accordance with design of the Master Plan. - Provision of future extension for the radio and television facilities. - Those items should be discussed by both sides

*) by system means:
An arrangement of components / sub systems so as to make one ordinary working whole in which the components/sub systems are compatible to each other in quality of material and technical performance.

JICA